



12月9日フォルテピアノで紡ぐ18世紀ウィーンのタペ 開演19時

初めてモーツァルト時代のピアノ(フォルテピアノ)に触れたとき、そのタッチの軽さ、表現の幅広さと可能性に走りだしたくなるような喜びを感じました。同時に、危うげともデモーニッシュとも言える音色(おんしよく)に、戦慄を覚えたものでした。オランダに住んで11年。18世紀から続くサロンやお城を中心に演奏しています。しっとりとした大倉山記念館で聴いていただけるのが今から楽しみです。



#### ☆プログラム

- ・ハイドン アンダンテと変奏曲 ヘ短調
- ・モーツァルト オランダの歌「ヴィレム・ファン・ナッソー」による7つの変奏曲 二長調 K. 25
- ・モーツァルト 幻想曲 二短調 KV397
- ・モーツァルト ソナタ KV331 (トルコ行進曲付き) 他

#### ☆ 演奏

##### 平井 千絵(フォルテピアノ)

桐朋学園大学ピアノ科卒業。文化庁在外派遣研修員として渡欧。ハーグ王立音楽院古楽器科を荣誉賞付き首席卒業。第7回園田高弘賞ピアノコンクール、第13回ファン・ヴァッセナル国際室内楽コンクール、第38回ブルージュ国際コンクールフォルテピアノ部門各第3位入賞。IYAP国際コンクール(ベルギー)第1位。“この楽器の傑出した専門家” “音楽的直感と、銜いない名人芸”と各誌で絶賛されたウィーンでの演奏は、各国のラジオ局で放送される。シリーズ「ウィーンのピアノに魅せられた作曲家たち」は、彼女が古楽に限定されない、良い耳と作品に対する誠実さを備えた優れた奏者であることを示している(ムジカノーヴァ)、音の粒の美しさは宝石か真珠のよう、...その味わいの深さは格別。(ショパン)など各誌で好評を得ている。鈴木秀美氏とのデュオCD、メンデルスゾーン:チェロとピアノのための作品全集は、平成18年度 文化庁芸術祭優秀賞受賞。

<http://www.chiehirai.com/>

【2009/07/16 14:20】  
これから3ヶ月の出演者紹介